

フレッシュ研修（初任校研修）

本年度、日置地区には小学校に12人、中学校に3人、計15人が新規採用教員として赴任しています。

6月1日（金）には、串木野小学校と串木野中学校を会場に教科指導の研究授業研修を実施しました。先輩教員による授業の参観や初任者代表の研究授業及び授業研究等を通して、新任教員としての資質向上を図り、実践意欲を高めました。

また、7月7日（木）には、串木野養護学校及びいちきアクアホールを会場に他校種参観研修を実施しました。特別支援学校での授業・施設参観等を通して、特別支援教育に対する認識を深めるとともに、校種間の連携の重要性を学びました。

今後は、10月に妙円寺小学校で道徳の研究授業研修、1月に湯田小学校で特別活動の研究授業研修を実施する予定です。



【研究授業研修】



【他校種参観】

日置地区PTA正副会長等研修会（兼人権教育ブロック別指導者研修会）

7月2日（土）に日置地区PTA正副会長等研修会（兼人権教育ブロック別指導者研修会）を中央大学客員研究員の高橋聡美先生を講師にお招きして実施しました。日置市・いちき串木野市PTA役員の方々を中心に150人の参加者がありました。当日は、薬物問題・市販薬乱用の特徴、自殺の原因と動機についてお話をされ、その課題解決のための具体的な対応として、子供に寛大になれるコミュニケーションスキルや基本的自尊感情の育み方、安全・安心な場づくりの必要性等について御指導いただきました。参加者からは、「話を聞いて共感する部分が多かった。笑顔が絶えない家庭をこれからも築いていきたい。」「最初から最後までお話に集中して、共感し、反省させられ、あっという間の講演会であった。素晴らしい話で、子供を持つ親として今からでも『ふるまい』を考え、学んだことを生かして接していきたい。」「など家庭等で即生かしたいという感想が多かったです。参加された方々は、当日学ばれたことをPTA活動や各家庭での子供たちとの接し方等に生かしていただきたいと思います。



スクールガード・防犯ボランティア等研修会

5月21日（土）、日置市伊集院総合体育館において、スクールガード・防犯ボランティア等研修会が開催されました。スクールガードリーダーや学校の教職員、保護者等、40人を越える参加者があり、日置警察署やALSOKの方を講師として、講義や実技を通じた研修に熱心に取り組みました。

本研修会で学んだことをそれぞれの立場で生かし、学校・家庭・地域の更なる連携の下、子供たちの安全確保を図られることを願います。



年度当初学校訪問

年度当初の学校の状況を把握するため、本地域内全域（日置市、いちき串木野市、三島村、十島村）の小・中学校及び義務教育学校を訪問致しました。（十島村は、村教育委員会からテレビ会議システムによる訪問）

訪問を通じ、それぞれの学校において、子供たちの夢や希望を実現するために、確かな学力の定着や生徒指導の充実、豊かな心の醸成などを旨とした教育活動が展開されていることを強く感じる事ができました。



【三島村】



【十島村】

日置地区生徒指導担当者等研修会

5月24日(火)、日置市中央公民館において、日置地区生徒指導担当者等研修会を開催しました。

当日は高校教育課学校教育生徒指導班の山中裕美指導主事、児玉さらスクールカウンセラースーパーバイザーより「当面する生徒指導上の課題と対応について」のテーマで講話がありました。今後、各学校において組織的な生徒指導の推進に向けて、生徒指導主任等を中核に、生徒指導を組織としてマネジメントしていくことを期待します。

【組織マネジメントに向けた留意点】

- (1) 法律や危機管理の在り方を理解する。
- (2) 生徒指導に係る教育課程の達成を目指した取り組みを重視する。
- (3) 生徒指導に係る人的・環境的な整備を、日頃から図る。
- (4) 学校・地域・関係機関との連携を図り、コーディネートする。
- (5) 同僚に対して、適切な助言や支援をする。必要に応じて専門機関の助言を受ける。
- (6) 教育相談の考え方・技法を修得し、保護者等からの相談対応を図る。

日置地区道徳教育研修会

6月28日(火)、日置市立伊集院小学校、伊集院中学校において、日置地区道徳教育研修会を開催しました。(会場校以外教職員参加者36人)

「児童・生徒が主体的に考え、議論する道徳教育の在り方について」という研究主題を基に、両校とも子供一人一人が自分との関わりで考え、議論する学習活動を通して、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めていく道徳の授業が展開され、大変有意義な研修会となりました。

今後とも地区内の各学校において、道徳教育の充実がますます図られていくことを期待しています。



【授業参観の様子】



【授業研究の様子】

キャリア・パスポートの活用について

学習指導要領では、特別活動の学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」の指導の際に、「児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること」として「キャリア・パスポート」の活用が求められており、2020年4月より実施されているところです。各学校、創意工夫のもと活用しているところですが、更によりよい活用を検討しておられる場合は、下記の部分も参考になると思いますので、紹介します。三者面談での活用例や校種間をつなぐ活用など実際の活用例が紹介されています。

ぜひ、御覧ください。

国立教育政策研究所ホームページより
研究紹介・研究成果>各部・センター案内>生徒指導・進路指導研究センター
「2 進路指導関係 進路指導・キャリア教育の更なる充実のための実践に役立つ資料」

https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/div09-shido.html#sinro

体育・保健体育の授業づくり

これからの授業づくりに向けた資料を作成しました。一人でも多くの運動好きな子供を育てるために是非、参考にしてください。鹿児島教育事務所ホームページに掲載しています。

<https://www.pref.kagoshima.jp/ba01/kyoiku/jimusho/index.html>

8/1～8/31 人権同和問題啓発強調月間

様々な人権問題を自分自身のこととして捉え人権について考えてみましょう。

青少年育成の日 毎月第3土曜日
家庭の日 毎月第3日曜日

異年齢集団による地域活動と家族団らんの機会をつくりましょう。

涼風

心が揺さぶられた
鹿児島教育事務所
所長 谷川 敬

「心が揺さぶられた。」管内で実施された道徳教育研修会における研究授業後に当該クラスの男子生徒がポツリと漏らした一言だ。担当教師が臓器移植を題材とした、正に答の定まらない命に関する問いについて、自己開示をしながら、自分の思いを真に生徒に訴えるその姿に涙が出た。また、授業の終末における生徒たちが述べた感想も、皆まるで詩人のような表現で、私は思わず「君たちは尾崎豊か!」と涙ながらツツコンでしまった。

六月には、事前にPCR検査を受けるなどして、三島村の義務教育学校を心地向いリズムで包み込む伝統打楽器ジャンベの演奏は、1994年にママディ・ケイタ氏の「日本の小さな村の子どもたちと交流したい」との思いから始まったという。その経緯や村民の想い、そしてそれを継承し、一生懸命に演奏しながら我々を迎えてくれた子どもたちの姿が1994年当時のドキュメント番組に登場した19人の子どもの姿と重なり、涙が止まらなくなった。

もはや学校訪問は、私にとって、正に心が揺さぶられる涙腺崩壊業務である。二学期以降の学校訪問等において、二学期以降の学校訪問等において、先生方が子どもたちと向き合う姿を見るのが楽しみで仕方がない。これはどこまで、日々感動に満ちあふれる職業が、教員の他にあらうか。

本県においては、教員のなり手不足が深刻な課題である。そのように先生と大に叫びたい。「学校に、素晴らしいのだ!」と。